

# あいちょう あいちょうだより

2019年11月  
第104号

こんにちは！美原店の八嶋です。  
いつもご利用ありがとうございます。  
日本は春夏秋冬とはっきりと四季があり季節ごとに味わえる美しい食材がいっぱいありますね！  
春(山菜)夏(夏野菜)秋(秋野菜)冬(鍋物) etc.  
山菜は母から健在で元気はこうよく取りに行きました。  
フキ、ダケウツシソウ、コゴメ、カラビ、ウド、などいろいろと…。  
一度だけ魚路の海岸で浜ぼうとう(山菜)を取った事があります。  
2~3時間で1回分食べる分しか取れなかったのですか？  
酢味噌にして食べました。とても美味しかったです。  
市場にあまり出ない食材なので今や高級品ですよね！  
秋にはタケノ子でボリボリを取った事があります。  
歯ごたえが良く美味しいかったです。若い頃はあまり好きではなかった山菜七年を重ねるごとに食べなくなこの頃です。  
これからよく作る鍋物には、旬のたち(たらの白子)を入れて食べたいと思います。




いつもあいちょうを御利用頂きます  
ありがとうございます。  
あいちょう本部の姉妹店です。  
日本の伝統的な食文化といえは  
御飯と味噌汁、おかずと漬物で  
「一汁三菜」といわれる事を食ですね。  
おかずといえばお刺身や生姜焼き、竜田揚げなどいかがいいい京肉があります。京肉も日本の食文化のひとつです。今年は国際捕鯨委員会脱退により、31年ぶりに商業捕鯨が再開されました。これにより今年はまだ調査捕鯨の副産物として販売されていた京肉よりも一層金目度の良い肉が夏と秋に入荷しました。  
普通に食卓に並ぶのがついて京肉ですが、高齢者続々再開を機にこれからも安く食べることができればいいですね。魚路は新鮮基地の1つですが、来年も新京の時期にはやはり早く新鮮な京肉が入荷しますので食べたことがない方も当店でお買上のうえ食べさせて下さい。



毎年恒例の赤い星形がきれいなレッドスタークリスマスが12月に試食販売です。  
料金は18歳以上あり、午前芦野店、午後は星が森で実施。埼玉・葛西駅を是非。



『おゆき』 企画出版 最上一平 加藤休 紙袋1,400円+税

釧路出身のクリエイティブ作家 加藤休が描いた絵本です。  
ますます精力的に活動している彼女が、今回タグを贈る「ひな山形出生の童話作家 最上一平です。台風19号の被害がまだたつあちつかない状況ですか、最近自然災害時に報道されるボランティアの方々が多くいらっしゃいます。日本人にとって、「助かる会い」「お互いさま」精神は小さくとも大切なものだと思います。  
日常的に手助けができることがあります。おかげで、つい分違うように感じます。  
この絵本には、その実践感、上手に表現されています。大雪のために大通歩行発生、トイレにも行けずお腹もへってくま、せまい車内でも体も痛くなっています。サービスエリアや田舎道の近隣住民との行動など、心あたたまる物語が、やさしいタッチの絵でじにせてあります。



今月の  
岸本店長の  
おすすめ本

いつもあいちょう芦野店を御利用頂き  
誠にありがとうございます。

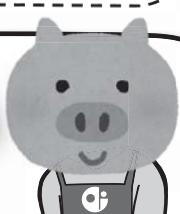
芦野店鮮魚の山内です。

我が家食卓のルールは、毎日の晩ごはん

のおかずには肉・魚・野菜の三種類を取り入れる事です。

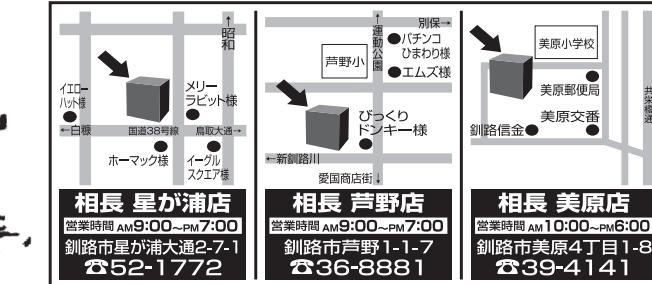
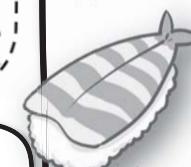
魚に関しては、煮る・焼く・魚が無い時には味噌汁をわりにしたり、タコの酢の物にしたりしています。

そしてなるべく全て手作りをばびけていますが、時間が無い時にはついで市販のタレや素を使ってしまい罪悪感でいっぱいになってしまいます。



家族も昔から晩ごはんには手作りで肉・魚・野菜の三種類が食卓に並んでいたのが当たり前になっているので手抜きがバレてしまします。

他人に言える程素晴らしい事ではありますね。これから家族の健康のため手作りで肉・魚・野菜の三種類を取り入れる事は続けていきたいと思っています。



会長通信 No.111 カルチャーフラッ!

10代最後の春、関西で連れられて入った拉麺屋。タレも入れずに鉄鍋に牛肉(当時は豚肉ばかりだった)をそぼろ焼アザラメと醤油をドレと入れて、お召し上がり?? 実ヒビツリしつつ、肉の旨さに驚きショックを受けた。我家の拉麺との違いを言うと、それは豚肉煮込み鍋みたいな物で可ねと言われ、また珍っ!! 初めて食文化の違いに触れた夜だった。

なぜカレーや肉じゃがは、やはり豚肉の方が美味しいと思うのです。まだ40年前に母に連れられて入った東京の寿司屋(当時は寿司屋も余り無かった)で

大好むおひる麺ひとくじを貰ひですね?と言ひて、へーと思ひながら、出来たての寿司屋で、これが江戸前寿司だと高められました。しかも、値段は釧路の倍以上。その後20年は海外で寿司屋に入ること無かったのであります。

地城に沿って寿司はもちろん、醤油、味噌などの調味料の味の違いが面白いのが日本の文化かもしれません。これだけ多様な食材と料理法があるからこそ、和食が世界遺産に登録されたのは当然かもしれません。各地の食材や味を伝授するスーパーの仕事を楽しいです。

ヨリ一人前量が多くデザートはあやしく甘いアメリカにも、面白い物があるんだよ、コストを出してこんなところまで頂ます。合掌

